

予算等審査特別委員会

質疑のうち、主なものを掲載しています。予算の詳細は「令和8年度仙台市の主要事業」をご覧ください。

市ホームページ [仙台市の主要事業](#)

委員長 村上 かずひこ
副委員長 内藤 良介

予算等審査特別委員会

全議員で、令和8年度の市の予算について詳しく審査し、委員会としての賛成・反対を決めるものです。



自由民主党

■ 千葉 ようすけ 委員

- 「**子ども誰でも通園制度**」の利用上限は10時間から40時間に拡充を
- 毎年約36億円を投じる給食費無償化だからこそ市内産食材の活用を徹底し、仙台の経済を市内で回し切るべき

■ 猪又 隆広 委員

- 不登校専用の電話相談ダイヤル開設
- 交通指導隊員確保と持続可能な体制を
- 再犯防止推進と保護司のなり手支援
- 外国人の国民健康保険料収納の徹底
- 下水道トラブル時の市の総合窓口設置

■ 千葉 修平 委員

- **音楽ホール等複合施設は事業費縮減に努め、市民理解のため市長自ら説明を。**
- **A** 自ら市民へ説明を行い、対話を重ねる。
- 地区集会所建設等補助の補助率アップ
- ケアラー支援条例と「親亡き後」対策
- 医療複合施設など日赤病院跡地の活用

公明党

■ 市民費

- 町内会の活性化と持続性強化への支援
- 働く女性の健康課題等に対する支援とウェルビーイング向上の実現を

■ 健康福祉費

- **Q** 予算査定的手法として、新公会計制度を活用した事務事業評価を導入すべき。
- **A** 予算査定手法も含め、客観性と透明性を確保した効果的な予算配分に努める。
- 空き地の雑草の適正管理に向けた施策
- ヤングケアラーの把握と支援体制構築
- 妊婦の**R3**ウイルスワクチン定期接種
- 乳がん検診の質向上と日曜検診の拡大
- ニーズ調査による墓園整備の見直しと手続きの電子化、ペット納骨堂増設
- 放課後子ども教室へ早急にエアコンを
- 敬老乗車証対象バス拡大の前倒し実施
- ねりんピック出場選手の自己負担減

■ 環境費・経済費

- **Q** 「防災未来の東北博覧会」の開催検討を。
- **A** 災害文化等の発信の在り方を探りたい。
- クマ被害対策の刈払いとスマホ通報
- 農業水利施設整備計画を明確にし、水不足や高齢化に対応した管理の確立を

■ 土木費

- **Q** 旧芥川排水機場の稼働と谷地堀の改修等で郡山北自地域の浸水は解消するか。
- **A** 平成27年9月関東・東北豪雨と同規模の降雨でも床上浸水被害を防止できる。

■ 高橋 たくみ 委員

- 伊達政宗公大河ドラマ誘致に向けた市民の機運醸成と地域経済活性化の推進
- 誘致する会51自治体と連携し「伊達経済圏」を活用した物産展と広域観光を
- 市民理解を促し、音楽ホール等複合施設を必ず「世界への誇り」とせよ

■ 佐々木 心 委員

- 太白区役所の駐車場不足の改善対応を
- 宮沢橋完成後の都市計画道路新規事業
- 終活支援の対象者と相談窓口の在り方
- 障害者アート活用推進事業の内容
- 温室効果ガス削減設備導入補助金の対象にマンション管理組合を加えるべき

■ 加藤 和彦 委員

- 令和8年度施政方針に係る市長の思い
- 青葉山エリアに投資を呼び込む発信を
- 学生等が合宿や練習のできる拠点施設
- 特別市の実現と県からの権限移譲を
- 仙台・東北の魅力的な原石を磨き上げ、東北を牽引する視点でのまちづくりを

■ 橋本 啓一 委員

- **Q** 空き家や高齢者孤独死に対応するため、マニュアルやルールの早期整備を。
- **A** マニュアルの整備など組織的な対応ができるよう取り組んでいく。
- 「特定空家等」に該当しない場合の対応
- 「空家等管理活用支援法人」の周知を

■ 庄司 俊充 委員

- 物価高対策のため自動適用される上下水道基本料金2カ月分の減免の周知を
- 鉛給水管の使用者への周知と早期解消
- 老朽化した水道管の適切な管理更新
- 水道局職員の技術継承と官民連携
- 料金改定せずとも持続可能な水道事業

■ 西澤 啓文 委員

- **Q** 広瀬通における交通渋滞の解消に向け、長期的な視野に立った交通政策を。
- **A** 主要道路の機能分担を図り、圏に仙台東道路の調査を求めするなど取り組む。
- 定禅寺通の車線減による渋滞への影響
- 屋内遊び場等の駐車場と周辺渋滞対策

市民フォーラム仙台

■ ごとう 正太郎 委員

- **Q** 西公園に整備されるアーバンスポーツ広場について若者向けに適切な広報を。
- **A** 関係部局とも連携し、効果的な広報について検討する。
- **※4スウェットスリ** 3x3、ダンス等を楽しむ広場整備
- 今後の救急車出動件数見込み
- 持続可能な救急体制の構築

■ 沼沢 しんや 委員

- **Q** 音楽ホール等複合施設の合理性、公共性を含め市民理解を得られる説明を。
- **A** 分かりやすさを重視した広報を行う。
- 児童クラブサテライト室を学校内へ
- 行政DXによる効果を可視化すべき
- 県との次期地域医療構想に向けた協議
- さらなる事業のスクラップ&ビルド



学校施設に整備された児童クラブサテライト室

■ 安孫子 雅浩 委員

- やさしい日本語による外国人受け入れ
- 地域の安全安心とボランティアの協力
- 外国人介護人材誘致と定着の取り組み
- 英語教育の重点化より優先すべきこと
- 公共施設の集約化と市の組織の縮小化
- 若者を中心にした仙台のまちづくり
- 稼げる仙台市になるために必要な施策

■ 鈴木 勇治 委員

- **Q** 日赤病院移転の影響や地域の動向を市が自ら調査し、県に対応を求めるべき。
- **A** 独自の調査結果を県に提示し協議する。
- レスパイト・回復期対応の病院誘致
- 用地先行取得による都市計画道路郡山折立線富田・西多賀工区の整備推進

■ 赤間 次彦 委員

- **Q** 特別市の実現に向けた市長の決意は。
- **A** 東北全体の活性化につながる特別市の実現に向け、取り組みを進めていく。
- 県からの権限移譲事務の早期実現
- 本市事業者や市民が多くを負担する県税については本市域内へ相応の還元を



特別市制度を分かりやすく伝えるため本市が作成したオリジナルロゴマーク

日本共産党

■ 花木 則彰 委員

- 家庭ごみに混入する雑がみの分別を生活スタイルとして定着させるため、回収用紙袋を無料配布して毎週回収を
- 身近な自然に関わる市民運動への支援
- 系統用蓄電池事業のリスクと注意喚起

■ ふるくぼ 和子 委員

- **Q** 鶴谷特別支援学校の手洗い場は車いす対応にし、職員トイレは改善と増設を。
- **A** 高等部エリア教室内手洗い場は改善検討中。トイレは学校の意向を確認する。
- 現金等支給で全市民対象物価高対策を

■ 高見 のり子 委員

- 聴覚障害児と家族への適切な情報提供と早期支援のためにアーチルの充実を
- 頻発する自然災害に対し、災害見舞金の拡充と各種支援制度をパッケージ化した「手引き」を作成し日常的な活用を

■ すげの 直子 委員

- 音楽ホール等複合施設等の大規模事業による将来の公債費増加は、財政に多

大な影響を及ぼす。身の丈を超えるハコモノ建設は見直し、再検討すべき。

■ 高村 直也 委員

- **Q** 街路樹の強剪定は不可避な場合を除きしないよう剪定マニュアルに明記せよ。
- **A** 今後、必要以上の強剪定にならないようマニュアルの記載内容を工夫する。
- 市バスの遅延解消と運転手の処遇改善

■ 吉田 こう 委員

- 児童クラブ弁当業者に高騰する製造費を補填し、保護者には弁当代の補助を
- 屋外公共空間に受動喫煙防止の掲示を
- 受動喫煙防止条例の制定を強く求める
- 学校給食用白衣はノンアイロン仕様様に



保護者の負担軽減のため、学校給食用白衣はノンアイロン仕様にするべき

立憲民主党仙台

■ いのまた 由美 委員

- 性犯罪被害者への初期支援と長期支援
- こどもや若者の性被害防止の取り組み
- 性加害を生まないための教育
- 性暴力根絶のための全庁的取り組み

■ ひぐち のりこ 委員

- 業務委託契約へのスライド条項導入を
- 日本三大大山夜景のプロモーション
- 定禅寺通を活用した障害者アート支援
- 文化コンテンツの充実を観光戦略に

■ 石川 建治 委員

- **Q** 自転車の交通反則通告制度の周知を。
- **A** 交通ルール動画の作成や警視庁の自転車ルールブック活用により周知する。

心豊かな社会をつくる会

■ 大草 よしえ 委員

- 本市は音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設を「新たな文化創出拠点」とうたう以上、文化の担い手である市民の理解なく事業を進めることは容認できない。十分な説明と対話を尽くし、市民の理解を得ることが先決。理解を得られなければ事業の見直しを。

- 次期空家等対策計画は利活用に重点を
- 図書館と書店の連携強化と書店支援策



大阪府吹田市による自転車の交通安全啓発ラッピングバス

■ 辻 隆一 委員

- 児童クラブ待機児童ゼロへの職員体制
- 中学校部活動の地域展開にあたっての人材確保と教育の一環としての配慮を
- 指定管理料に物価スライド制の導入を
- 4病院再編に伴うがん医療提供の課題
- 音楽ホール等複合施設整備については丁寧な説明による市民理解の促進を



音楽ホール等複合施設の基本設計(中間案)に関する市民説明会



国内動物園で飼育されているフタユビナマケモノ

市民の会

■ 伊藤 ゆうた 委員

- **Q** 導入資金のめどが立たないジャイアントパンダではなく、世界的に人気が高まっているフタユビナマケモノを導入し、八木山動物公園の魅力を高めよ。
- **A** 動物園間ネットワークを通じて導入予定であり、令和16年度に開館予定の南米館で展示できるようにしたい。

せんだい自民・参政の会

■ 大河原 ふゆこ 委員

- 音楽ホール等複合施設の莫大な建設費より完成後の文化芸術振興に予算を
- 文化芸術の力とは何なのかを検証せよ
- 基本設計後に市民との対話の場を作れ

■ 田村 勝 委員

- 消防団高砂分団上田子部の施設改善
- 消防団活動拠点のエアコン等環境整備
- 気候変動を踏まえた雨水対策整備基準
- 優先地区完了後の次の段階の雨水対策

■ 跡部 薫 委員

- **Q** 5歳児健診の目的とその後の支援は。
- **A** こどもの特性の早期発見が目的。各区等で支援するほかアーチルへもつなぐ。
- 外国人介護人材の定着に向けた支援策

■ 斎藤 範夫 委員

- 道路に引かれた白線の劣化が激しい。場当たり的対応から計画的維持管理へ。
- 新築建築物への太陽光パネル設置義務化は課題が多い。慎重な対応を求める。

仙台維新

■ 仁平 覚子 委員

- **Q** 授業時間の充実を図り、教員とこどもがより良い関係を築ける時間にすべき。
- **A** 授業の基盤となる学級づくりを重視し、教員とこどもの関係性構築に努める。
- いじめ・不登校対策事業は方向転換を
- 音楽ホール等複合施設は市民と対話を

■ 早坂 千亜紀 委員

- メモリアル拠点複合施設の整備
- 関連施設との連携と沿岸部の活性化
- メモリアルのソフト面も議論すべき
- 住居を持たない生活困窮者への支援
- 路上生活者対策とセーフティネット

維新の会

■ 福田 ようすけ 委員

- 太陽光発電設備の導入促進は対象を中国産ではなく国産パネルに限定すべき
- 東京一極集中を打ち破るべく、本市も副首都構想を目指すべき
- 漫画【呪術廻戦】で描かれる泉中央にも聖地としてモニュメントの設置を

■ 関戸 努 委員

- **Q** 休日の部活動も学校教育の一環であり、地域展開はこどもの居場所を守りながら進める必要があるが、認識を同う。

自由民主党フォーラム

■ 渡辺 博 委員

- 市政課題把握と改善策を見いだす方法
- 課題把握の拠点としての児童館の活用
- 女性防火クラブ朗読活動が果たす役割
- 貧困対策とひとり親家庭への支援推進
- 政策形成にこどもの視点からの提案を
- 都市の持続可能性を高める投資と予算
- 音楽ホールに関する市民理解の確保策

■ 佐藤 正昭 委員

- 音楽ホール等複合施設は理念ばかりで具体性がないのに事業費は青天井。市民の主体的関わりや丁寧な説明もない。
- 都市間競争ではなく都市間連携を図れ

■ 菊地 崇良 委員

- 新築建築物への太陽光パネル設置義務化は市民負担が増える上、リサイクル制度も未整備。義務化は見送るべき。
- 音楽ホール等複合施設の事業費は急増し将来の財政負担も不透明。震災メモリアルとの一体整備の理由や整備後の運用方針など市民への説明が不十分だ。
- 国道4号線六丁の目交差点や浦町交差点等における渋滞や事故への対策を
- パンダ誘致を求める市長親書の妥当性



音楽ホール等複合施設の整備には市民の理解と納得が必要

■ 東城 ひろみ 委員

- 客引き対策は、費用の積算根拠が不明確で行政判断の誤りだ。効果検証や成果指標の数値化等検証案項を設けよ。
- 本市沿岸部・海上に発射基地を有する宇宙・防災・安全保障技術拠点誘致を



客引き対策は、市民の声を聴き、透明性と検証性を高め適切な実施を



部活動の地域展開はこどもたちや保護者の声を反映させるべき



震災伝承を担う女性防火クラブの朗読活動を持続可能なものに